

留 学 報 告 書



留学先国	アメリカ
留学先高等教育機関名	フロリダ州立大学・ディズニーワールド提携インターンシップ
留学期間	2019年8月～2020年1月
留学を開始した時の学年	2年生

留学費用（概算）

授業料（プログラム費用）	50万円
保険料	10万円
宿舍費（1か月あたり）	5万円
食費（1か月あたり）	3万円
渡航旅費	30万円

滞在形態関連

1) 種類
寮
2) 部屋の形態
相部屋（6人）
3) 設備
シャワー、お風呂（浴槽）、トイレ、エアコン、キッチン、ランドリー、インターネット、Studying Room、宅配ボックス。コピー機のあるパソコン室がパソコンの台数は少ないですが、24時間使えました。
4) 住居を探した方法
留学先大学の指定

現地情報	
1) 大学内の医務室／診療所や付属の病院などで医療サービスを受けることは可能でしたか？	はい。
2) 現地で病院にかかったことはありますか？	いいえ。
3) 保険について、現地の医療保険に加入しましたか？	はい。
4) 留学にあたり、必須の予防接種はありましたか？	はい。麻疹，風疹，おたふく
5) 学内外で問題が発生したときは、誰に相談しましたか？	留学先の友人，日本にいる友人や家族，ホストファミリー，留学先大学の先生
6) 現地の治安はどうでしたか？また、現地の危険地域情報をどのように収集し、どのような防犯対策をしましたか？また、実際に窃盗等を含む犯罪に巻き込まれた場合、どのように対処しましたか？	オランダの治安はよかったです。念のため、夜間の 1 人での外出は必要最低限に抑えました。
7) パソコン、携帯電話、インターネット接続について、現地での利用はいかがでしたか？	インターネット接続は比較的安定していましたが、寮の部屋の位置や日によっては繋がりにくいこともありました。私は外出時に使えなくなることが不安だったため、現地で SIM カードを購入しました。
8) 現地での資金調達はどのように行いましたか？	給与ありのインターンシップ留学だったため、現地でも出費は給与で賄っていました。インターンシップが始まる前の 10 日間ほどの期間は日本で換金して持って行ったお金で賄いました。
9) 利便性、買い物はどうでしたか？また現地では調達できない日本から持っていくべき物がありますか？	寮の近くにスーパーやアウトレットがあったため、買い物に困ることは特にありませんでした。しかし、調味料を含め、日本の食料は少なく、寮から少し離れたアジアマーケットまで行かないと入手できないため、現地での自炊で使用する場合は持っていく方が便利だと思います。
10) 授業料（またはプログラム費用）は、どのように支払いましたか？	<input type="checkbox"/> 座振込

11) その他、生活等に関して参考となることがあれば教えてください。

渡航について	
1) 現地空港から滞在先まで、どのようにして向かいましたか？	
	留学先大学のピックアップサービス
2) 到着後にオリエンテーションはありましたか？あった場合、どれくらいの期間行われていましたか？	
	はい。1 週間ほど。

学習・研究活動についてのレポート（履修した科目ごとに記入してください）	
履修した授業科目名	
	Applied Intercultural Communication
授業内容や試験、授業を受けた感想について	
	この授業は月に一度講義形式の授業があり、月に2、3回の頻度でエッセイまたはディスカッションボードへの投稿、返信の課題がありました。内容は主に文化の違いについてでした。異文化に入った時の感情の動きなど実際に自分が直面していることを客観的に考える機会になりました。

履修した授業科目名	
	Intercultural Communication
授業内容や試験、授業を受けた感想について	
	この授業はインターンシップ開始前の10日間のみ行われた授業でした。課題はエッセイでテストは数回、授業内容の確認で行われました。内容は文化の違いについてでしたが、特に表面的に見える違いを引き起こしている考え方の違いについて学びました。ロールプレイやプレゼンテーションの発表を交えた授業で大変でしたが、とても充実した楽しい授業でした。

履修した授業科目名
Corporate Social Responsibility
授業内容や試験、授業を受けた感想について
この授業は初回の講義以外はオンラインでのみ行われました。月に2, 3回程度でエッセイ、ディスカッションボードへの投稿、返信が課題でした。内容は他の授業とは異なり、ディズニーの行う社会貢献について学びました。課題の多くはディズニーの掲げる目標と自分がインターンシップをしながら経験したことを結び付けてどう関係しているかを考察するものでした。

履修した授業科目名
Intercultural Communication Practicum
授業内容や試験、授業を受けた感想について
この科目はディズニーで実際に行うインターンシップです。私はこの6か月間の間に2つの職種を経験させて頂きました。最初は英語で行う接客について何もわからない状態なので戸惑いましたが、同僚の使う英語のフレーズなどを真似しながらだんだんと自分のものにしていくことができました。

留学体験記

<p>留学しようと決めた理由や、この留学先を選んだ理由</p>	<p>私がこのプログラムに参加したいと考え始めたのは高校 2, 3 年生の時でした。説明会に訪れた際に興味を惹かれ、参加したいと考えましたが、その時はまだ夢のように思っていて現実的に考え始めたのは入学してからでした。他の協定校への留学なども考えましたが、自分の性格上、英語を話さざる負えない状況に身を置かないとただ「いる」だけになってしまうと考え、インターンシップ留学を選びました。将来は観光業に携わりたいとも考えていたため、英語力の向上とホスピタリティの学習を目的として参加しました。</p>
<p>留学のためにした準備、しておけば良かったと思う準備</p>	<p>留学の準備は一次面接前から始めましたが、本格的に始めたのは二次面接前でした。主にガイドブック、Youtube からの情報収集、面接対策を行っていました。しかし、どちらも十分ではなかったのもう少し前の段階から詰めて準備する必要があったと思います。また、英語力の面でも特にスピーキングの力が足りず、伝えたいことを伝えられないこともあったので office hour など活用して英語を話す時間を設けるべきだったと思いました。</p>
<p>留学中に役立った書籍、ウェブサイト、アプリ等</p>	<p>出勤やスーパーへ行く際にも利用するバスの時刻表が見られる Crystal Rider というアプリは必須です。また、バスでは行けないところに行く際は現地のタクシーを利用することになるので Uber が便利です。Uber Eats も家に食材がない時や疲れているときの何度か利用しました。ディズニーのパークの込み具合などが見られる My Disney Experience は入っていると便利ですが、日本の携帯の場合、アメリカのアカウントを作らないと入れることが出来ないので注意が必要です。</p>
<p>大学・学生の雰囲気 (職場や同僚の雰囲気)</p>	<p>大半の方はトレーニングの際、英語が第一言語ではないことを考慮して普通よりもゆっくりと丁寧に仕事内容を教えてくださいました。トレーニングの内容もアメリカ国内から参加している College Program の参加者とアジア圏など国外から参加している International College Program の参加者で異なるようでした。また、トレーニング後も分からないことがあって質問すると優しく教えてくださいました。ミスをして迷惑をかけることも多々ありましたが、それを解決するために助けて下さり、大声でどなられることはありませんでした。そのような環境だったので質問もしやすく、働きやすい環境でした。</p>

滞在先の雰囲気	<p>オランダは自然が多く、高い建物も少ないため、全体としてゆっくりと時間が進んでいるように感じました。寮から徒歩 20 分ほどで行ける Publix というスーパーではレジの際に店員さんが話しかけてくれたりと親切な方も多かったです。また、同じプログラムに参加している方にも親切な方が多かったです。一度、バスが職場のバス停を飛ばしてしまったことがあり、どうしたらいいか戸惑っていたのですが、同じバスに乗っていて同じ駅で降りる予定だった方と話して解決することが出来ました。</p>
留学先における交友関係	<p>明治大学から大勢で参加するプログラムであるため、現地で友達が作れるか不安でしたが、同僚と親しくなることが出来ました、特に 1 つ目のジョブであった Quick Food Service の時の同僚とは出勤前や休日に出掛けたりメッセージを送りあったりと親しくなることが出来ました。その中にはアジア圏の他の国から参加している方も数人いらっしゃり、より仲良くなることが出来ました。勤務の休憩時間は一人であることもありましたが、パートタイムの方や同僚などと話すこともあり楽しかったです。</p>
留学中に困ったこと、つらかったこと、大変だったこと	<p>留学中に一番つらかったことは自分の考えていることが英語で表現できないことが多々あったことです。どう表現したらいいかを考えているうちに話題が次に行ってしまうたり、うまく表現できなくて相手に理解されない時がとても悔しかったです。後から考えたら組み立てられる文章も唐突に聞かれると頭が固まってしまう、支離滅裂な文章で返してしまうこともあり、スピーキングの準備が足りなかったことを後悔しました。私はホームシックには特になりませんでした。日本食は一時期とても恋しくなりました。</p>
留学先における学習、課題や試験	<p>フロリダ州立大学期間は授業後、就寝前に課題をしていました。課題はエッセイが多く、大変でしたが、1 人部屋もあったので集中して終わらせることが出来ました。インターンシップ中の課題はエッセイもありましたが、そこまで負担には感じませんでした。1 人部屋はありませんでしたが、それぞれ出勤時間が異なるので 1 人になれる時間にまとめて終わらせたり、部屋の人と一緒に課題をしたりしました。課題以外には英語に触れる時間を増やしたかったので英語の映画をNetflixで見たり、リスニングを鍛えたり、相槌の打ち方を学んだりしました。</p>

<p>大学外の活動（課外活動や自由時間など）</p>	<p>自由時間は基本、洗濯や買い出し、またはパークに出掛けていました。私の寮は部屋に洗濯機がなかったのである程度貯めて週に2回程度まとめて洗濯していました。買い出しは週に1回程度近くのスーパーに行き、カットサラダやベーグルなど調理の必要があまりないものを買っていました。それ以外の日はパークに出掛けていました。パークに出掛けることでゲストの方にお勧めのレストランなどをお勧めすることもできたので研究もかねて出掛けていました。</p>
<p>留学を志す人へメッセージやアドバイス</p>	<p>留学中はつらいこともあります。それを上回るくらいに充実した楽しい時間になると思います。そのためにも英語の特にスピーキングの勉強は出発直前まで続けるといいと思います。私は話せないことで後悔したことが多く、その度にもっと準備していたら同僚とより親しくなれたかもしれないと考えていました。面接や選考に通った後も英語にできるだけ触れているとさらに留学を楽しめると思います。留学は大きな決断にはなるとはありますが、英語力以外にも得るものが多いので十分に準備して参加するといいと思います。</p>